

- 第8回研修会開催報告 ……………1
- 第9回研修会 案内 ……………3
- ネットワーク会員の地域別分布 ……4
- 漢字教育サポーター育成事業…5
第3期(Web講座)受講者募集
- 初めて一級に合格しました! ……6
- 漢字同好会からのお知らせ ……7
- お知らせ 投稿募集 ……………8

第8回 会員向け研修会 開催報告

9月15日(日)に東京都新宿区の日本青年館において、「第8回会員のための研修会」を開催しました。早稲田大学社会科学総合学院教授の笹原宏之先生による講演に、一四五名の方がご参加くださいました。

講演の部 要旨

名字・名前と漢字

早稲田大学社会科学総合学院
教授 笹原 宏之 先生



日本人の名字はほとんどが漢字で書かれており、種類が豊富です。ごく少数しかいない名字も含めると約三十万種類の名字があると言われています。幕末頃に「上沼田下沼田沼田」があったようですが、現在最も長い名字は漢字五字の「勘解由小路」と「左衛門三郎」です。名字は「珍奇」とされる場合などでは、家裁に申し立てて認められれば改姓できます。名字は固有名詞ですが、「白鳥」「早乙女」という名字に優雅なイメージがあるように印象が強くなり、ただの記号ではないと言えます。

日本には訓読みがあり、漢字二以上の名字も多数存在し、僅かな差やニュアンスを大切にするため、多様性に富んでいます。「わたなべ」姓一つ取っても百種類ほど字体がありますし、「渋谷」を「しぶたに」と読むか「方言漢字」として「しぶや」と読むかは地域などで分かれます。住民票に振られている振り仮名は自由に変えることも可能で、例えば「齋藤」と書いて「いじゅういん」と読ませることもできます。

下の名前では、響きが優先されて「心」と書いて「ここ」「こ」と読ませるなど、一部分の訓を当てる部分訓も増えてきました。このように、日本では様々なこだわりを漢字に与えることができるのですが、そのために漢

字が一般的な日本語と乖離し、逆に汎用性がなくなったり社会性が伴わなくなったりすることもあります。

中国も漢字で名字・名前を表記しますが、「名字は一字、名前は一字または二字、読み方は音読みのみ」という大原則があります。中国では名字の種類も約四七〇〇種類と少ないため、「張偉」という同姓同名が二七万人もいます。韓国は、中国の影響を受ける以前は固有語、つまり昔の朝鮮語で名前をつけていましたが、三国時代以降、中国風の一字音読みの名字、一、二字音読みの名前に変わっていきましました。そうして、「金さん、朴さんなど中国以上の名字の集中が起こり、たった二八六種類の名字しかありません。近年漢字離れが進んでいる韓国は、ソヨンなど漢字表記がはつきりせず、さらにハンゲルでしか書けない名前も好まれています。ただし名字はあくまでも漢字一字というのが韓国にも残る原則です。

日本の名前に関する法令である戸籍法には「子の名には常用平易な文字を用いる」とだけあります。この「常用平易」とは何かについて、制定当時は一八五〇字の当用漢字だけとされましたが、そのために現場は大混乱しました。その結果、一九五一年から人名用漢字が制定されました。

私が人名用漢字の制定に携わって行なった実態調査では、人名用漢字に入っていない最も人気のあった漢字は「莓」でした。莓という可愛らしい果物のイメージから、漢字まで可愛らしく見えるようです。現在、名前に使える漢字は二九七字(異体字を含む)になりました。それでも名前をどう読ませるか自由なので、近年は変わった名前も増えてきました。音符、奏夢、二二三、三二二などがああります。

少子化が進む中、制限された漢字の中で付けられる子の名前は、読み方に個性を求め、いっそう多様化しています。名付けにおいて親に求められることは、過去への振り返り、知識と教養、そして想像力でしょう。

子供に変わった名前を付けた森嶋外も、中国古典など典拠を踏まえて漢字を当てており、思いつきで付けたものではありませんでした。また、漢字そのものの知識がないと「腥」「朧」「曖」など漢字の音義を誤解して使ってしまうかえりません。そして、子供にこの漢字で名付けたらやがて子供はどう思うだろうか、周囲の人はどう思うだろうかということを想像する力こそが大切でしょう。

漢字の運用は自由な方がいいと思いますが、子供を表現媒体のように扱って、放埒にするのはよくありません。子供や社会が幸せになるために、名前にも最低限の社会性を持たせる必要性があると思っています。

講義で
紹介された

名字・名前に関する 豆知識



● 日本で多い名字は、第一位が「佐藤」、第二位が「鈴木」、第三位が「高橋」と言われています。ただしこれらの名字の分布には地域差が大きく、佐藤姓は東北に、鈴木姓は北関東に、高橋姓は東日本一帯に多く存在します。

● 読み方には「東は濁り、西は清む」という傾向があります。例えば「中島」「山崎」も東日本は「なかしま」「やまざき」が多く、西日本は「なかしま」「やまさき」が多くなっています。

● 女の子の名前には、一時期90%近かった「〜子」が減っており、現在の子供には1%ほどしかいません。一方、男の子の名前には「〜お」が減っています。「雄」「男」「夫」などと書きますが、「雄」や「男」はかなり古くから存在し、「夫」は江戸時代の終わり頃から現れた新しいものようです。

● 中国の名字で多いのは「王」で、人口の約7%の一人います。第二位は「李」、第三位は「張」で、この三つを合わせて二億七千万人もいます。韓国では一番多い名字が「金」で、人口の23%をも占めています。第二位「李」、第三位「朴」と続きます。

● 人名用漢字が制定されるまでは、「杏子」が「白子」に書き換えられたり、「昂」と形のよく似た「昂」を「すばる」と読ませたりして戸籍登録が行われる事態も生じました。

第8回 会員向け研修会 開催報告

会員発表の部 要旨

囲碁と漢字

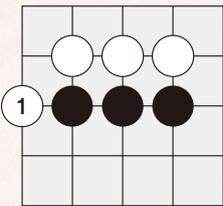
神奈川県 大橋 旦さん

「囲碁」には、昔から32種類の着手の名が伝えられています。現在はカナで「ツキダシ」「二間トビ」などと称しますが、そもそもは「衝」



「関」などと漢字一文字で表されていました。今日は、盤面の配石図を元に、なぜその漢字を用いるようになったのか、配石のイメージと漢字が合っているのかを検証したく思います。

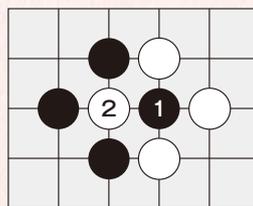
囲碁は、黒と白の陣地に含まれる交点の数を競う陣取りゲームです。まず、辺に沿って斜めの位置に打つ「ハネ」と呼ばれる手(白1)を見てみましょう。



これは、「綽」と呼ばれており、「字統・字通」には「糸束を括つて染めた時白く残り目立つ処」という原義が出ています。斜めに打たれた手はまるで染め残した糸束がみだしているようであり、まさに「綽」の原義そ

のままのイメージと言えないのでしょうか。つまり着手の名には、漢字の原義が生きているのです。

また囲碁では、相手の石を囲むとその石を取ることができますが、同じ形でお互いが続けて交互に相手の石を取り合うことはできません。それを「コウ」といい、漢字では「劫」と書きます。



黒1のホウリコミを打った後、白2で黒1を取られた場合、黒はすぐには黒1に打って白2を取り返すことはできない。一手以上他に打った後は取り返せる。(コウのルール)。

さて、黒1のように、コウを仕掛けてゆく手がホウリコミです。「筈」といいますが、この漢字の原義は合十りで、合は「㇇(サイ)」に蓋をする形で、「リ」と合わせて、力づくで盟誓を遵守させる意となるのです。ここから「筈」は、遵守を強要するようにコウを強要する意となります。これに対して「劫」は、原義は去十刀です。去は、神判に敗れた人が「㇇(サイ)」の蓋を外してムとし、その人とともにこれを捨て去るのが原義です。ですから去は追放を意味する字で、刀と合わせ、「劫」は強制排除の意となります。だからこれらの原義からイメージされるコウの争いは、「筈」で強要されたものを「劫」で力づくで排除し合うせめぎあいと言えるのです。

今日は、囲碁的な表現を持つ32の漢字を紹介いたしました。なお出典は「忘憂清集」で、漢字は「字統・字通」により解釈しました。このやり方は、囲碁以外でも興味深い展開ができるのではと思います。

参加した会員の感想

アンケートより抜粋

● 自分の名前が関東で難読だったことで漢字に興味を持ち始めたので、今日の講義はとっても楽しかったです。役所の市民課にもおりましたし、今は人事課なので、ずっと人の名前に触れています。出生届を預かる時は、二度見して同僚に相談して、マニュアルを調べたから、その親に確認していました(笑)。
(20代 女性)

● 笹原先生の広汎な研究成果の一端に触れることができて有難かったです。驚きと感銘を受けました。大橋さん、素晴らしいの一言。全く基を知らぬ私にも文字の形と碁石の配置を連想させられました。
(東北 60代 女性)

● 先生の話がおもしろく、名前に関する話をたくさん知ることができてよかったです。90分が早く感じました。
(埼玉 10代 女性)

● 参加者の皆さんから良い刺激を受けることができました。
(東京都 50代 女性)

● 笹原先生…数年前に京都で初めてお聴きして、その後も著作を拝読し、日本の漢字の現状を面白く解説してくださる先生の大ファンになりました。今日もまた新しいネタが次々と飛び出して笑いすぎてあごが痛くなりました。次の機会を楽しみにしています。大橋さん…同じ講義を1年間受けてこども成果が違うのだと愕然としました。自分の特技をモチーフにしてそこから漢字の世界へいざなう方法は、私にも目標にできそうだなと思いました。碁の基礎自体も教わりたいたいです。ぜひ講習を！
(東京都 40代 女性)

第9回研修会は 広島です!!

聴講者・発表者募集

第9回

漢検生涯学習ネットワーク
会員向け研修会

- 日時 ● 平成25年12月8日(日)
13時30分～16時30分(13時00分 受付開始)
- 場所 ● 広島YMCA国際文化センター本館 404号室
広島県広島市中区八丁堀7-11
- アクセス ● 市内電車(5番以外)「立町」電停下車徒歩3分
アストラムライン「県庁前」駅下車徒歩5分
JR広島駅からタクシーで10分
- 参加費 ● 無料
- プログラム ● **講演** 佐々木 勇氏(広島大学大学院教育学研究科(言語文化教育学専攻)教授)
テーマ『常用漢字表に見る日本語の歴史』

プロフィール

1986年広島大学大学院文学研究科国語学国文学専攻博士課程後期単位修得退学。博士(文学)。著書に『平安鎌倉時代における日本漢音の研究』(二〇〇九年、汲古書院)・『専修寺蔵『選擇本願念佛集』延書 影印・翻刻と総索引』(二〇一〇年、笠間書院)など。親鸞遺文を中心とする浄土真宗古写本の国語学的価値の高さに注目し研究を続ける一方、宋版一切経の調査・音釈研究を進めている。

■ 関連ホームページ

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/kenkyu/now/no23/index.html>

会員発表 1名(発表は1人30分以内)

※会員発表後に、簡単な交流会を予定しています。

- 聴講者定員 ● 70名
- 参加申込方法 ● 以下のいずれかの方法でお申し込みください。
FAX・郵送…同封の「第9回会員向け研修会 申込用紙」(挨拶文裏面)に必要事項を記入の上お送りください。
Eメール…申込用紙の必要事項(氏名・電話番号・会員番号・住所(送付先に変更がある場合のみ))をメール本文に記載してお送りください。
※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。
※参加の当落については11月下旬に郵便もしくはEメールにてお知らせします。

申込締切日 ● 平成25年11月22日(金)(協会必着)

研修会にてご自身の研究発表をされる会員を募集いたします!

ご自身の日ごろの漢字学習・研究の成果を発表しませんか?

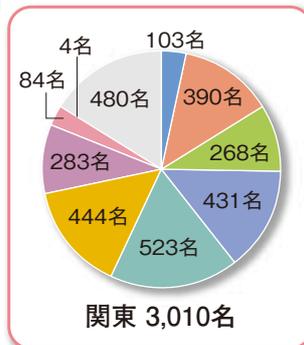
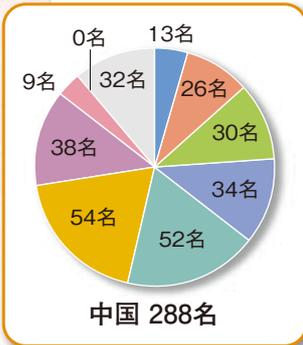
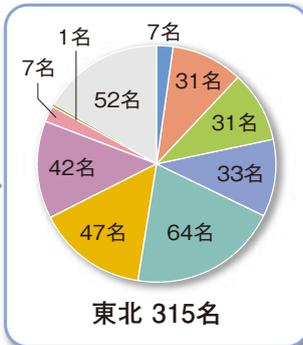
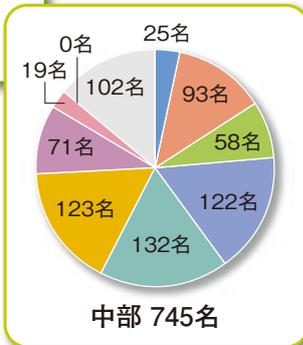
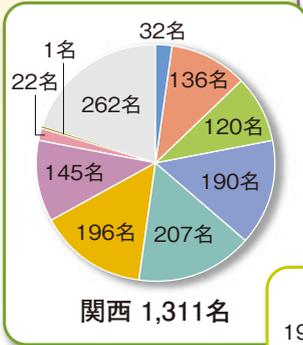
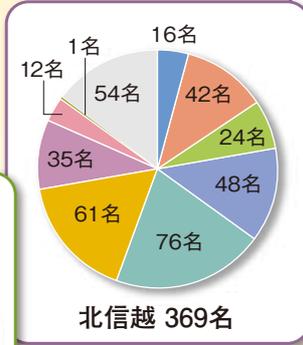
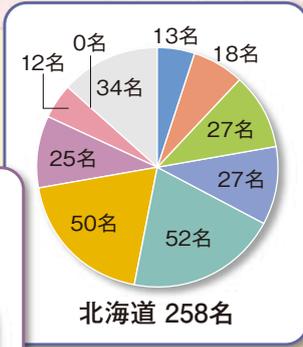
発表時間は1人30分以内です。

発表希望者は、同封の「第9回会員向け研修会 申込用紙」の発表希望の項目にチェックし、発表したい内容の要旨(A4用紙1枚以内)を添付してFAXもしくは郵送でお送りください。Eメールでのお申し込みの場合は、要旨を添付ファイルでお送りください。発表希望者多数の場合は選考させていただきます。その結果は11月下旬までにお知らせします。

ネットワーク会員の地域別分布状況

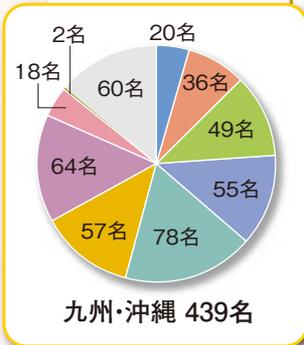
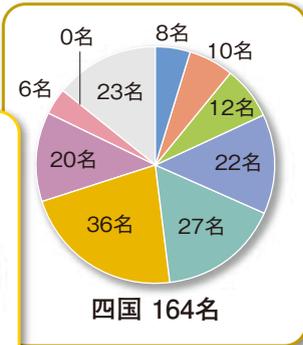
平成23年4月に生涯学習ネットワークが発足して以来、多くの方々に会員になっていただき、平成25年10月現在で会員数は6,900名となりました。今号では、会員の地域別分布状況をご紹介します。

漢字同好会のメンバーと一緒に漢字の勉強をする仲間をお探しい方は、ぜひ以下の漢字同好会メンバー・仲間募集板もご利用ください。



北海道	258
東北	315
関東	3,010
北信越	369
中部	745
関西	1,311
中国	288
四国	164
九州・沖縄	439
不明	1
総計	6,900

平成25年10月10日現在



漢字同好会メンバー・仲間募集板

初めて連絡される場合は、漢検生涯学習ネットワークの会員通信をご覧ください。旨を必ずお伝えください。

● 教員をしており、現在、「漢字教育士」の資格取得に向けて猛勉強中。空き時間を見つけて取り組むことは容易ではありませんが、楽しんでいきます。資格取得後は、漢検1級に挑戦します！同じ「志」を持つ仲間と一緒に勉強しましょう。よろしくお願ひします。

眞砂 幸菜
yukina595@hotmail.com

● 一緒に勉強、相談できる方を探しています。Eメールか郵便で。

加藤 智子
1511172

東京都渋谷区幡ヶ谷三、四八二二〇一
tomoko-0213-s29@ezweb.ne.jp

第3期(Web講座)受講者募集

あなたも漢字の知識や面白さを伝える「漢字教育サポーター」になりませんか？

「漢字教育サポーター育成事業」とは、地域での漢字教育を推進するために、より専門的な漢字の知識を持った指導者を育成するものです。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の協力のもと、Webを用いた全80回の通信講座を配信します。修了者には「漢字教育サポーター」として、学校や地域団体などから講師(有償・無償)や教育ボランティア等の要望があった際には協力をお願いすることになります。

漢検で培った漢字の知識をさらに深め、その魅力を広くいろいろな方へ伝えていきませんか？
応募締切日は平成25年12月13日(金)です。詳細は同封の募集要項をご覧ください。



第2期漢字教育サポーター育成講座

受講者インタビュー

現在、第2期の講座を受講中である青木様(60代/男性)、富田様(40代/女性)に、講座を受講しての感想をうかがいました。

青木様のご感想

漢検1級合格後、白川文字学に出会い、常用字解をもとに学習していました。そんな折、漢字教育サポーター講座受講者の募集を知り、退職後のライフワークの一環としてこの講座を受講しました。

講座は主に土日集中で受講していましたが、7月の退職後は自分の都合のいい時間に受講していました。講座の内容は、専門的な知識のほか、教育技術の分野まで幅広い内容となっており、中には、難解な講義もありましたが、漢字の奥深さを教えてくれる、大変興味深い講座だったと感じています。

講座を終えた今、「漢字教育士として活動すること」を新たな目標として設定しました。まずはシルバークラスセンターの講師ボランティアとして活動していきたいと考えています。そのためには、受講内容を復習再確認して、さらなる研鑽を続けること、「漢字の何を伝えたいかを明確にすること。そのうえで漢字の楽しさ、おもしろさを伝えられる力・プレゼン力を身に付けること」が必要ではないかと考えています。漢字教育サポーターに要求されていることは、幅広い漢字の知識、言い換えれば、「多くの引き出し」を自分の中にどれだけ用意できるか、ではないかと思っています。

富田さまのご感想

講座の受講を決めたのは、第一に白川文字学を学びたいという気持ちからでした。また、作詞家として言葉扱う仕事をする上で、言葉の大切さは常に心の中にあり、漢字の持つ魅力、言葉の持つ魅力を一人でも多くの方に伝えたいという思いから受講を決めました。

webでの受講のメリットは、何と言っても自分の好きな時間に、自分のペースで受講できることです。また、難しい講義、興味のある講義は何度でも繰り返し受講することも出来ました。白川文字学の講座ではその世界に浸り、その世界を心ゆくまで堪能し、私にとっては至福の時でした。私だけでなく、多くの漢字好きにはたまらない講義ではないかと思っています。

講義の中には難解なものもあり、果たしてこれを役立てることが出来るのかと、戸惑うこともありましたが、しかし、全ての講義を受講した時、私自身の引き出しは、勉強を始める前の「ただ漢字が好き」という自分にはなかった知識の宝物で、溢れていると思います。その喜びと充実感で、今は楽しみながら勉強をしています。

今後は、漢字について知識を得たいという要望があるならば、どこまでも飛んで行って、漢字の魅力を伝えたいと思っています。特に成長していく子供たちに、語彙が増えるということは知識の蓄積のみならず、感情を表現する言葉が増える分、心がとても豊かになります。コミュニケーション能力を考えた時、豊富な語彙は自分の気持ちを相手に伝える、大きな力にもなります。漢字教育サポーターとして、漢字の奥深さを伝え、と共に、そのようなことも伝えていけたら幸いです。これ以上の喜びはないと思っています。

初めて一級に合格しました!

漢検の最高峰一級に初めて合格した会員の喜びの声を紹介します。

平成二十四年七月、翌月に古稀を迎えるので、その記念に前々から一度受けたいと思っていた「漢字検定」に挑むことにした。どうせなら一級にと軽い気持ちで問題集を買い、やってみたが、結果は無残なものだった。二、三割しかできず、国字、四字熟語、熟字訓は全滅に近かった。そのまま放たらかしの状態だったが、八月末、新聞に漢検の日程が出ているのを見て、今度は目標を下げ準一級を受検することにして勉強を再開した。そして平成二十四年度第二回の試験で合格することが出来た。

次はいよいよ一級である。しかしどのように勉強を進めたら良いかわからない。いろいろ考えた末、次の方法で勉強をしてみた。

一、漢和辞典に最初から最後まで目を通し、目ばしい漢字、熟語をノートに書き抜いた。

二、四字熟語、対義語・類義語、国字、熟字訓、諺などは小さいノートに書いていった。

そして、平成二十四年度第三回試験に臨んだが、不合格。勉強不足を思い知らされた。中でも四字熟語、対義語・類義語は仮名から漢字が思い浮かばない。この分野の勉強に努めて平成二十五年度第一回の試験で一級に合格した。点数は二六一点と辛うじての合格であったが、どうにか七十歳のうちに目標を達成できた。

これで勉強は終わりではないと思っている。試験で初めて目にする熟語、熟字訓もある。漢字を楽しみつつ、生涯学習として、頭の老化防止に努めてゆきたいと思っている。

福岡県 門司さん

準一級から着実にステップアップをし一級を目指すという方法が功を奏しました。四字熟語や対義語・類義語は、なかなか満点を取るのが難しい分野です。漢検が古稀の記念となったことも嬉しい限りです。

平成二十四年度第三回、初挑戦で合格致しました。インターネット台否サービスで合格を知った時は、勿論嬉しかったのですが、その反面ケアレスミスが多々あり、悔しさもありました。二七四点と、学習期間の長さ(七年弱)にしては物足りない点数でした。

学習に際しては、漢検協会の書籍はもとより市販の問題集は総て集めました。また、学習初期はとにかく問題数を多くこなすことを目指し、終盤は間違えた語、難解な語を中心に意味や語源を調べて記憶に残るようにしました。漢検一級を目指している方は全国には大勢おられ、そうした方々と主にネット上で交流を図り、ご教示頂いたり切磋琢磨したりしました。漢検特有の点ですが、中学生からご年配の方まで幅広い年齢層の方が大きな励みとなり、また楽しい経験ができました。小学四年生の甥(七級)が漢検に興味を持ち始め、家族表彰を目指したのも目標の一つでした。

一級に合格したとはいえ、まだまだ漢字の^{えんかい}瀛海に漕ぎ出したばかりですので、今後は四字熟語や熟字訓を始めとする語彙力の更なる向上を図るとともに、漢字に興味を持つておられる方、造詣の深い方々との交流を深めてゆきたい所存です。

北海道 押野さん

一級合格のためには覚えるべき漢字の数もたいへん多いので、モチベーションをどう維持するかも重要です。日本全国の漢検一級を目指す方々と交流されたことで、「皆で頑張っている意識」に支えられての合格となりました!

平成二十四年度第二回検定で一級に合格しました。準一級合格後、続けて五回目の挑戦でした。勉強法は、漢検漢字辞典、漢検四字熟語辞典、完全征服、数年分の過去問題集、その他の問題集に出ている一級の漢字や熟語を理解して憶えられるまで頭の中で何回も書けるようイメージを繰り返す方法を毎回同じようにやりました。その方法では物足りないのでニンテンドーDSの漢字検定の全ソフトを繰り返しやる「なぞり書き」も合格するまでやり続けました。AKB選抜総選挙の名言「努力は必ず報われる」を信じ続け、自分は三十歳までに合格するという目標があったから一回も諦めずに続けられました。受験票が到着した日は去年の反省を数十分でやり、同じ失敗はしないと誓い、試験当日は福岡市の会場で受検し、始まる前は近くの図書館で一時間前まで漢字の最終確認を怠らせずにしたから念願の合格を勝ち取れました。十一月に合格を確認したときはとても嬉しかったです。これからは、三月に二年分の問題が収録されている過去問題集を毎年買い、それを見て漢字力を維持し、養った実力を各地のご当地検定に挑戦するのに活かしていきたいです。

山口県 富田さん

「努力は必ず報われる!」三十歳までに合格!という明確な意志と目標があったからこそ、コツコツと勉強を続け合格されました。この経験をぜひほかの分野にも活かしてください!

合格された皆様、本当におめでとうございます!

初合格を目指している方も、合格の暁にはぜひ感動の声をお寄せください。

投稿の方法はP.8をご覧ください。

漢字同好会からのお知らせ

全国の漢字同好会の情報は、漢検ホームページからもご覧になれます。
<http://www.kanken.or.jp/project/edification/associations.html>

北海道漢字同好会

第4回 漢字ものしり大会

日時 ● 平成25年11月23日(土・祝) 13時～16時30分
 会場 ● かでる2・7(1060号室)札幌市中央区北2条西7丁目
 内容 ● 会員以外の方々が対象です。様々な分野の漢字問題200問に挑戦することで、漢字への興味を深めていただく内容です。漢字遊びの時間もあります。

参加費 ● 500円(当日徴収)
 申込方法 ● 往復はがきでお申し込みください。
 (記入項目:住所、氏名、年齢、電話番号)
 〒006-00814 札幌市手稲区前田4条12丁目3-23
 菅原方 北海道漢字同好会
 申込締切 ● 11月14日(木)消印有効

特別講演会

日時 ● 平成25年12月7日(土) 16時～18時
 会場 ● かでる2・7(1060号室)札幌市中央区北2条西7丁目
 演題 ● 「時代とともに変化する漢字の音と字体」
 講師 ● 石橋晴通氏(北海道大学名誉教授)
 聴講料 ● 500円(当日徴収)
 申込方法 ● 事前のお申し込みは不要です。当日直接会場にお越しください。

お問い合わせ

北海道漢字同好会 事務局
 TEL/FAX 011-691-5123
 Eメール kanji0764@nifty.com

福島県漢字同好会

漢字講演会

日時 ● 平成25年11月17日(日) 14時～
 会場 ● 郡山市民交流プラザ 大会議室
 テーマ ● 漢字からひもとく「論語」の世界
 講師 ● 福島大学人間発達文化学類 准教授(文学博士) 遊澤尚

12月例会

日時 ● 平成25年12月1日(日) 14時～
 会場 ● 郡山市民交流プラザ 会議室
 テーマ ● 忘年漢字クイズ大会
 司会 ● 八重樫一

聴講料 ● 無料
 申込方法 ● 事前のお申し込みは不要です。当日直接会場にお越しください。
 お問い合わせ ● 福島県漢字同好会 TEL 024-923-1078

新潟漢字同好会

「方言漢字―各地のことを表す漢字―」

日時 ● 平成25年11月23日(土・祝) 10時～12時
 会場 ● コーポシティ花園 ガレツコ
 (新潟市中央区花園1-2-2)
 講師 ● 早稲田大学社会科学総合学院 笹原宏之教授
 聴講料 ● 無料
 申込方法 ● 同好会会員は、返信ハガキにて。一般の方は、事務局へ事前にお電話にてお申し込みください。

申込締切日 ● 平成25年11月15日(金)
 お問い合わせ ● 事務局 太田 090-8640-8761

石川漢字友の会

平成25年11月例会・講演会

日時 ● 平成25年11月24日(日) 13時30分～15時
 演題 ● 「世話用文章と女世話用文章大成」
 講師 ● 中野節子先生(金沢大学人間社会学文学類教授・金沢市近世史料室講師)
 申込締切日 ● 平成25年11月15日(金)

平成25年12月例会・学習会

日時 ● 平成25年12月15日(日) 13時30分～15時
 演題 ● 「石碑でめぐる金沢歴史散歩」出版・編集余話
 講師 ● 三田良信先生(芸文顧問)
 申込締切日 ● 平成25年12月5日(木)

平成25年1月例会・講演会

日時 ● 平成26年1月26日(日) 13時30分～15時
 演題 ● 「大金沢論」と「第1回金沢市祭」
 講師 ● 山本吉次先生(金沢大学附属高校・教諭)
 申込締切日 ● 平成26年1月15日(水)

聴講料 ● 無料
 会場 ● 〒920-0919 金沢市南町2-1、北國新聞会館10階108教室
 申込方法 ● ハガキFAX、又はEメールでお申し込みください。
 (電話での連絡は、ご遠慮願います。)

お問い合わせ ● 〒920-0919 金沢市南町2-1
 北國新聞文化センター1階付「石川漢字友の会」宛
 FAX 076-260-3427
 Eメール ishikawa-kanji@pos.nsk.ne.jp

書籍紹介

謎だらけの日本語

2013年 日本経済新聞社編
 ツイッターの「フォロワー」を漢字で書くこと? 「大統領」の語源は「大工の棟梁」? 魚へんに◎で「ちくわ」と読む? 「牽引車」ではなく「牽引者」?
 限られた紙面でどのような漢字を当てて表現するか、日々生まれる新しい言葉をもとに扱つか、はたまた中国の簡体字を日本の漢字になおす際の苦労など、新聞記者だからこそ分かる日本語に隠されたドラマを興味深く解説する言葉教室。

中国で生まれた漢字が日本の文化に触れ、日本に定着していく過程で意味が変わっていくさまは、言葉が生き物であるということとを如実に物語っている。政界、スポーツ界、経済界の用語など、日々変化していく言葉を追う新しい発見が満載の一冊。



お求めは、お近くの書店もしくはインターネット。

お知らせ

会員通信への 投稿募集中心!

ご感想・ご投稿をお寄せ頂いた方に抽選5名で漢検オリジナル消しゴムをプレゼント!!

会員通信を充実させるため、会員の皆様に積極的な投稿をお願いします。

● **常時募集** (掲載できかねる場合もございます)

漢字同好会メンバー、仲間募集板

「漢字同好会のメンバーを集めたいのだが、どうすればいいか分からない」「同じ県内で一緒に勉強できる仲間がいらないかな?」といった悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか?

研修会内の交流会に参加できない会員の皆さまのご要望に応え、同好会メンバーや仲間の募集板を会員通信内に開設します!

募集内容や自己紹介などと、誌面に掲載してもよい連絡先を明記の上、お送りください。

例 ● 長野県内で一緒に漢字の勉強をしませんか?

漢検 花子 Eメール: kanken-hanakoo@xxx.jp

漢字一字に込める想い

自分の好きな漢字、自分にとって思い出深い特別な漢字など、漢字一字に込められた想いについてのショートエッセイを募集します。その漢字一字と漢字にまつわるエピソードを、タイトルを必ず添えて500字以内(タイトルを含む)でお書きください。

一級に初めて合格しました!

この一年で、難関の一級に初めて合格した方の喜びの声と、合格のポイントを紹介します。

以下の項目に沿って原稿をお書きください。

- 項目 ● ①いつ合格したか
- ②何回目の挑戦での合格だったか
- ③合格に向けて工夫したこと(勉強方法等)、励みになったこと
- ④合格したときの気持ち・感想
- ⑤今後の目標

対象 ● 平成24年度第2回(10月)〜平成25年度第1回(6月)の検定で初めて一級に合格された方

字数 ● 項目①〜⑤までで500字以内

漢字・日本語に関する お薦めの書籍紹介

書名、著者名、出版社名、発行年を明記して、お薦めの理由を250字以内にまとめてお送りください。

漢字に関するパズル・クイズ

子どもからお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにしてご投稿ください。(未発表作品に限ります。)

例 ● 漢字クロスワードパズル、子ども向け漢字クイズ(学習漢字のみ使用)、難読漢字パズル等

投稿方法

原稿とともに会員番号、氏名(ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること)、電話番号を明記し、郵便・FAX・Eメールでお送りください。
※Eメールの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「-太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

締切日

2013年12月13日(金) (協会必着)

投稿先

郵送

〒600-8585

京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

漢検生涯学習ネットワーク担当

FAX 075-352-8310

Eメール lifelong@kanken.or.jp

すべての投稿を掲載できるわけではありません。原稿はこちらで一部割愛・校正させていただきます。

日本漢字能力検定 平成25(2013)年度

個人受検 検定日程

	検定日	申込受付開始日	申込締切日(協会必着)
第3回	平成26年 2月2日(日)	平成25年11月1日(金)	平成25年12月24日(火)
		*ただし、書店での申込受付は平成25年12月18日(水)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成25年12月24日(火)協会必着	

- 申込締切日(協会必着)を厳守してください。
- 申込締切日以後に願書が到着した場合や、検定料の支払期限が過ぎた場合は受け付けできません。



公益財団法人

日本漢字能力検定協会

本部 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398
*「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報を!!

漢検

検索

http://www.kanken.or.jp/



0120-509-315

月~金9:00~17:00(祝日・年末年始を除く)

*検定日とその前日にある土・日は窓口を開設

*検定日・申込締切日は9:00~18:00

